看護学研究科教授会議事録

(6月1日定例)

開催場所	3階 大会議室	開催日時	平成23年6月1日(水)14:00~15:08
出席者	出席22名/25名 (教 授)安齋,伊藤,遠藤,小野,苅 武田,徳永,長澤,中塚,原 (准教授)佐藤,菅原,萩原 (事務部)佐々木,吉川		々木,塩野,関戸,高橋(方),高橋(み), ,吉田
欠席者	(教 授)山田 (准教授)桂,高橋(和)		(職階50音順・敬称略)
	議事	内	容

1 開 会

2 議事

【1】審議事項

- (1)議事録署名人(本日6月1日)の指名について
 - ・本日開催教授会の議事録署名人に桑名佳代子教授が指名された。
- (2) 研究指導教員(博士前期課程2年生・博士後期課程1年生)について
 - ・【資料1】に基づき桑名教務委員長より説明され、審議の結果、原案のとおり承認された。
- (3) 平成23年度前期時間割(夜間開講状況)について
 - ・【資料2】に基づき、平成23年度前期時間割が審議され、原案どおり承認された。なお、月曜6時限の生涯健康支援看護学特論(博士後期課程)と木曜6時限のコンサルテーション論(博士前期課程: 非常勤講師による集中講義を除く専任教員開講分)の2科目については、社会人を含む履修者と調整の結果、夜間開講されることとなったことが桑名教務委員長より説明された。
- (4) 長期履修許可申請について
 - ・博士前期1年生の[学籍番号]○○○○より長期履修許可申請【資料3】が提出された。メール開催 された教務委員会で承認されており、本教授会で審議の上、承認された。
- (5) 看護学研究科院生室について
 - ・院生室は本来,博士前期・後期課程合同の部屋として使用することになっているが,運用上,博士後期課程の学生に院生室の机が割り当てられず,別途設けていた博士後期課程の作業用の研究室を利用せざるを得ない状況になっていることが判明した。これは,長期履修制度の活用などにより,現院生室が飽和状態になったことによるものであることが研究科長より説明された。そこで,今年度については,研究科長より助教の院生に院生室の使用状況を確認した上で,助教の院生には院生室の机を割り当てず,博士後期の学生として割り当てて運用していくこととし,来年度以降については,全院生が使用できる広い研究室の確保に向けて,全学の施設有効活用検討委員会に要望を出していくことが研究科長より説明され,承認された。
- (6) 東日本大震災の影響による研究の遅延について
 - ・震災の影響により研究協力施設が被災していたり、データ収集が進まないといったケースがあったため、教務委員会で院生の研究への影響が問題提起され、運営会議でその支援策・対応策について審議された。【資料4】に基づき、研究科長より運営会議案が示され、諸規程を改正することはせず、遅延の可能性がある学生は休学制度を活用していくことを指導教員に要請され、承認された。

【2】報告事項

- (1) 運営会議
 - ①開催結果について(5月11日,25日)【資料5】
 - ア 学生の身分(休学)について【資料6】
 - ・震災の影響による休学については5月末まで申請を受付していたが、入学前に1年間の休学申請をした[学籍番号]○○○○について、5月24日開催の研究科学生委員会で承認され、運営会議でも承認されたことが報告された。
 - イ 長期履修許可申請について【資料7】
 - ・博士前期課程 1 年 [学籍番号] ○○○○, [学籍番号] ○○○○より長期履修許可申請があり, 運営会議で承認されたことが報告された。
 - ウ 看護学研究科 修了時アンケート結果について【資料8】
 - ・昨年度は修了式の際にアンケートを実施したが、今年度は震災の影響により、郵送でのアンケート実施となったこと、また、その取りまとめた内容が報告された。なお、修了生からの要望として出された夏季時の空調は、各授業担当教員が防災センターへの連絡することで対応可能であることがあわせて説明された。

議 事 内 容

- (2) 教務委員会
 - ①看護学研究科在校生アンケート結果について
 - ・【資料9】に基づき、桑名教務委員長より報告された。なお、在校生からの要望として出された指導上の対応については、研究科長より、各指導教員が真摯に受け止めるとともに複数指導体制を活かした対応強化をはかるよう要請された。
 - ②平成23年度前期履修登録状況について
 - ・【資料10】に基づき、桑名教務委員長より報告された。
- 【3】次回開催日程
 - ・次回の研究科教授会は7月6日(水)に大会議室で、学部教授会終了後に開始時間を調整の上、午後に開催することを確認した。

議事録署名

氏名 小野 幸子 印

氏名 桑名 佳代子 印

以 上